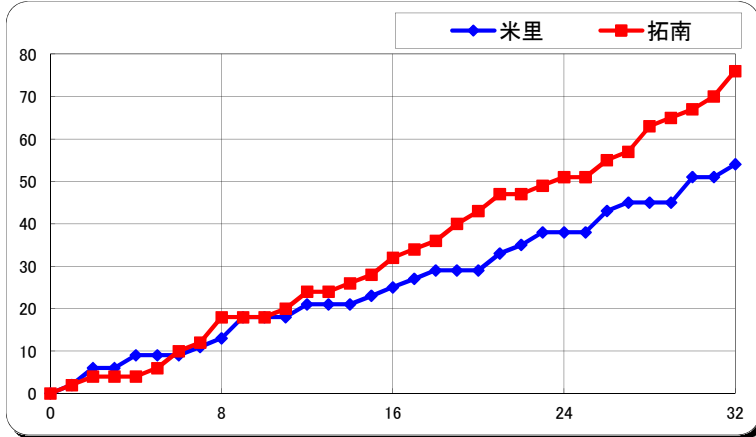




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会														
会場	春日部市総合体育館														
日時	平成24年8月22日(水) 15:03														
コート	Fコート	第5試合													
カテゴリー	男子	予選Bリーグ													
主審	高嶋 憲彰 (鳥取県)														
副審	吉川 誠 (埼玉県)														
Team A			Team B												
米里 (北海道)	54	76	拓南 (愛媛県)												
	<table border="1"> <tr><td>13</td><td>1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>13</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>16</td><td>4th</td><td>25</td></tr> </table>	13	1st	18	12	2nd	14	13	3rd	19	16	4th	25	OT	
13	1st	18													
12	2nd	14													
13	3rd	19													
16	4th	25													

【BOXスコア】

Team A		米里						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	北澤 峻	×	11	1	3	2	0	
5	清野 司	×	11	3	1	0	0	
6	北澤 樹	×	9	1	3	0	0	
7	山田 友哉	×	19	3	5	0	3	
8	兼平 大夢	×	2	0	1	0	1	
9	相原 康平	／	2	0	1	0	1	
10	佐藤 大樹	／	0	0	0	0	0	
11	水口 翔太	／	0	0	0	0	0	
12	神原 辰哉	／	0	0	0	0	0	
13	伊藤 大賀	DNP	0	0	0	0	0	
14	佐藤 あおば	／	0	0	0	0	0	
15	畠山 紘次	／	0	0	0	0	0	
16	赤松 錬	DNP	0	0	0	0	0	
17	石黒 航	DNP	0	0	0	0	0	
18	境 和英	／	0	0	0	0	0	
監督	山下 和幸						0	
コーチ	斉藤 由佳						0	
合計			54	8	14	2	5	

Team B		拓南						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	富谷 覚	×	2	0	1	0	1	
5	山崎 竜之介	／	0	0	0	0	0	
6	橋 十志貴	×	12	0	5	2	1	
7	武田 星太郎	／	0	0	0	0	0	
8	高石 将一郎	×	6	0	3	0	0	
9	沖田 剛	／	0	0	0	0	0	
10	松尾 季風	×	24	0	12	0	2	
11	苗田 将輝	×	22	2	8	0	0	
12	篠浦 拓心	／	0	0	0	0	0	
13	露口 祐輔	／	0	0	0	0	0	
14	松本 雅樹	／	7	1	2	0	0	
15	安田 兼大	／	0	0	0	0	0	
16	時岡 風弥	DNP	0	0	0	0	0	
17	片山 耕稀	／	3	1	0	0	0	
18	大丸 智樹	DNP	0	0	0	0	0	
監督	尾下 桂子						0	
コーチ	坂本 和典						0	
合計			76	4	31	2	4	

【戦評】

北海道ブロック代表米里と、四国ブロック代表拓南の一戦。1Q、立ち上がり両チームともにマンツーマンDef。拓南#11の得点から始まる。米里は#4の得点、更にドライブからファウルを誘いフリースローも確実に入れる。#4は3Pも決めて攻撃の中心となっている。拓南は全員でパスを回し#6、#11が得点。対する米里は#4がカットインからシュートを決めて両チームとも譲らぬ展開となる。拓南は#10がゴール下で起点となり得点を重ねていく。早い展開から米里#7がジャンプシュートを決めるも、拓南が速攻から#6の得点。米里13-18拓南で1Q終了。2Q、米里#4がドライブで切り込み自分でジャンプシュート、#5が3Pを決めて、開始3分で追いつく。拓南は#6がフリースローを確実に決め、更に#10がゴール下で粘り強くシュートを決める。米里は#5の3Pで反撃。拓南は#11がOffリバウンドからシュート、3Pも決めて徐々にリードを広げていく。終了間際、米里は#8がゴール下で合わせて得点。米里25-32拓南で前半を終える。3Q、拓南は#10が、米里は#7がOffリバウンドからシュートを決めて互いに得点を重ねていく。拓南は#10のスクリーンでフリーになった#11が3Pを決める。更に#10がOffリバウンドからシュートを決めてリードを広げる。米里は#4から#6への合わせで得点、#7の3Pで反撃するも、高さで勝る拓南#10が得点を重ねていく。米里38-51拓南で3Q終了。4Q、米里#7の3P、#6がカットインからシュートを決め追い上げる。拓南#10がOffリバウンドから加点。米里#5は厳しいチェックをされながらもジャンプシュートを決める。3分46秒、拓南#4が速攻から得点し点差が開き始めたところで、米里がタイムアウト。米里#5、#6と連続で3Pを決め点差を縮める。拓南#14、#11も3Pを決め互いに外角のシュートを落ち着いて決める。米里#7が3Pを決め追い上げるが及ばず、米里54-76拓南で試合終了。

【戦評記入者】

馬場 秀則